

「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」の開催について

危険物保安室

1. はじめに

国内の石油製品需要の減少を背景として、過疎化や、それに伴う人手不足等により、給油取扱所（ガソリンスタンド）の数が減少し、自家用車や農業機械等への給油、移動手段を持たない高齢者への灯油配送などに支障を来す地域が増加しています。このような状況を踏まえ、エネルギー基本計画（平成30年7月3日閣議決定）等において、AI・IoT等の新たな技術を活用し、人手不足の克服、安全かつ効率的な事業運営や新たなサービスの創出を可能とするため、安全確保を前提とした規制のあり方について検討することが求められています。また、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日閣議決定）では、人口減少や高齢化が著しい地域での給油所の撤退等を踏まえ、各種生活サービス機能が一定のエリアに集約され、集落生活圏内外をつなぐ交通ネットワークが確保された拠点である「小さな拠点」の形成を促進することとされています。

このため、消防庁では、過疎地域等の地域特性や最近の技術動向等を踏まえ、令和元年度に続き、今年度も「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催しています。

2. 令和2年度検討項目

主な検討項目については次のとおりです。

- (1) 過疎地域の燃料供給インフラの維持に係る事項
- (2) 現存する給油取扱所の事業継続に係る事項

3. 令和2年度第1回検討会（書面審議）の内容

令和2年度第1回は、令和2年7月豪雨に対する災害対応及び新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、令和2年度の検討項目及び検討の進め方について書面審議を行いました。その結果、昨年度抽出した諸課題について、安全対策の技術的な検討を集中して行うため、技

術ワーキンググループ（以下「技術WG」という。）を検討会の下に開催することとなりました。今後、技術WGにおいてシミュレーションやモデル実証等を基に技術的な議論・検証等を行い、その結果を踏まえ本検討会においてとりまとめを行っていくこととしています。

4. 今後の検討スケジュール

第2回 令和2年12月頃（予定）

第3回 令和3年2月～3月頃（予定）

委員名簿（敬称略・五十音順）

【座長】

吉井 博明 東京経済大学 名誉教授

【委員】

小笠原雄二 危険物保安技術協会 業務部長
 小川 晶 川崎市消防局 予防部 危険物課長
 加藤 正樹 浜松市消防局 予防課長
 佐藤 義信 全国石油商業組合連合会 副会長 SS経営革新・次世代部会長
 清水 秀樹 石油連盟 給油所技術専門委員長
 清水 秀樹 長野県下伊那郡売木村 村長
 鶴田 俊 秋田県立大学システム科学技術学部機械工学科長・機械知能システム学専攻長
 沼尾 波子 東洋大学 国際学部国際地域学科 教授
 長谷川清美 東京消防庁 予防部 危険物課長
 平野 祐子 主婦連合会 副会長
 松井 晶範 一般財団法人 全国危険物安全協会 理事兼業務部長
 松尾 達宏 一般社団法人 電子情報技術産業協会
 三宅 淳巳 横浜国立大学 先端科学高等研究院 副高等研究院長・教授
 森泉 直丈 日本ガソリン計量機工業会 事務局 幹事

技術WG検討委員名簿（敬称略・五十音順）

【座長】

三宅 淳巳 横浜国立大学 先端科学高等研究院 副高等研究院長・教授

【委員】

小笠原雄二 危険物保安技術協会 業務部長
 小川 晶 川崎市消防局 予防部 危険物課長
 金城喜美彦 日本SF二重殻タンク協会
 佐藤 義信 全国石油商業組合連合会 副会長 SS経営革新・次世代部会長
 清水 秀樹 石油連盟 給油所技術専門委員長
 谷内 恒平 一般社団法人 日本産業機械工業会
 鶴田 俊 秋田県立大学システム科学技術学部機械工学科長・機械知能システム学専攻長
 森泉 直丈 日本ガソリン計量機工業会 事務局 幹事

問い合わせ先

消防庁危険物保安室 危険物施設係 羽田野、黒川
 TEL: 03-5253-7524